

# バイクと一体になり風を切る

ナカタ産業株式会社 代表取締役 中田 恵三 氏

(大阪工業大学電気工学科昭和56年卒業)

今年1月で57歳になった私の趣味は多々あるが、その中でも一番のお気に入りバイクである。

49歳の時に娘が中型自動二輪免許を取ったのがきっかけで、私も憧れのアメリカンタイプに乗ろうと中型自動二輪免許を取得した。スズキの400ccを中古で手に入れたが、どんなバイクでも車より速いと思っていたがそうではなく、上り坂になると車にどンドン追い抜かれるのである。これではダメだと3ヶ月後に大型自動二輪免許を取りに行き、次に乗ったのがスズキのVストローム1000cc。軽快に走り、上り坂で車に抜かれることもなくなった。この頃からバイク仲間が増えてくるようになった。

当初は皆それなりのバイクだったのが、次々

とBMWに乗り換え始めたのである。私も試乗すると一目惚れし、R1200GSに乗り換えた。このバイクは良くできていて一日500km以上乗っても疲れず、本当に気持ちよく走れるのである。3年間でロングツーリングに何度も行き、2万キロを楽しませてくれた。

昨年BMWは水平対向型ボクサーエンジンを空冷式から水冷式へと刷新。この新型に試乗すると、これがまた大変よくできており、思い切って乗り換えることにした。車種は同じ系列で航続距離と巡航性能を高めたR1200GSアドベンチャーを選んだ。クルーズコントロールも搭載され至れり尽くせりである。

バイクの楽しさは、風を切って走る解放感、爽快感が魅力であることは言うまでもないが、



何より運転すること自体が楽しい。左右のハンドリングで操縦する車とは違って、バイクの場合は車体自体を寝かせて体重移動で曲がるという仕組みであることが実におもしろい。以前に岡山国際サーキットでプロレーサー先導の下、コース取りを教わったことがある。プロの様にうまく走ることはできないが、思い切ってアクセルを開けてサーキットを駆け抜けた時、バイクと一つになっていることを感じる事ができた。バイクに乗って7年になるが、ますます腕を磨き楽しみたいと思う。